

## 第 10 回米原市定例教育委員会

日 時：平成 26 年 10 月 21 日

午後 3 時 30 分開会

場 所：山東庁舎 2 階 2 A B 会議室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員  
山本教育長

教 育 部 長：伊夫貴部長

教 育 総 務 課：田中次長 仲谷課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長 中西課長補佐

生 涯 学 習 課：西出課長

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：藤田課長補佐

図 書 館：宮崎館長

こども未来部長：岩山部長

保 育 幼 稚 園 課：木田主任

書 記：西村

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

10 月も後半になってきました。御嶽山の噴火、強力な台風、女性閣僚の辞任などいろいろなことがあり、ゆっくりと自然を眺める余裕もない生活になっています。

実りの秋にふさわしく、子どもたちも元気に活動しているのではないかと思います。スポーツ関係、校外学習等々、日々の学習等にもしっかりと励んでいてくれると思います。

学校教育課で市教委訪問の計画をいただいていますし、米原教育フォーラムの予定も聞いています。教育委員もそういった機会に参加させていただいて、学校の様子も、あるいは先生方との意見交流もできるのではないかと思います。学校での子どもたちの活動を見るのもこの機会しかありませんので、できるだけ参加をお願いします。

### 3 会議録承認

9 月定例会議事録 承認

### 4 教育長報告

9 月 30 日に議会が閉会しました。前日も話をしましたが、決算が不認定となりました。生

生涯学習課の女性の会への補助金の実績について、政治活動と捉えられるようなことが書かれていたことなどから不認定の決定がされました。教育部としては、補助金の事務処理のあり方、団体との関わりや指導を大事にしていかなければならないと思っています。金額として約200億円の中の35万円ということで賛否はあるように聞いていますが、事務処理のあり方は十分反省しなければならないと思っていますし、4月にお金を出して3月に決算書をもらうということだけでないように、しっかりと日頃から関わりを持っていく必要があると思います。

今年度も半期が終わり、今年度の重点施策と来年度に向けた方向性ということで、オータムレビューがありました。その中で特に話題として出ていたのは、学校教育では校長枠の執行状況、小規模校のあり方、学力向上に向けた取組、35人少人数指導等で、整理しながら次年度予算に向けていきたいと思っています。

生涯学習課では、ルッチ大学での地域人材がどのように生かされているのかという話題。高齢者の支援はできているが、次世代を担う若者をどう育成するのもポイントではないかという話も出ていました。青年団層、若者の層を活気づかせる生涯学習の場があってもよいと思います。そう考えますと消防団など、地域で活躍している人材をもっと元気づけるような企画も必要でないかと話をしています。

文化的景観について、今後はどのような方向性をもつのか、懇談会の持ち方について指摘されたところです。整備活用委員会で様々な意見がある中で、それを整理しながら今後の方向性を見出だしていくべきだろうと思っています。

最後に国体がらみで6年後のオリンピック、10年後の国体に向けて、スポーツ振興の部分で、我が町としてはホッケーの振興、スポーツ少年団の育成を含めて考える必要があります。施設整備とともにスポーツ人口を増やしていくこと、トップアスリートの育成も含めて意見も出ていました。

今後予算に向けてそれぞれの課で、教育総務課では非構造物、トイレ、中学校の空調設備。学校教育課では35人学級、少人数指導のあり方などが予算に大きく関わってくると思いますし、教科書が新しくなることで電子黒板を導入することも整理していきたいと思っています。生涯学習課では、国体に向けてのこと、若者育成のこと、家庭教育力向上に向けて今年はマニュアルづくり、来年度は講座をどう生かしていくか。歴史文化財保護課では、合併10年の記念行事としての文化財の活用ということで、流星や来年米原市で開催される全国山城サミット。山城サミットは、9月下旬に上平寺、鎌刃城の方と鳥取へ参加しまして、次年度のPRをしてきました。1000人を超える参加者でしたので、文産会館での開催も考えていきたいと思っています。給食の関係では、消費税10%を見込んだ給食費の値上げを検討しています。図書館では、学校司書の派遣について、本来は学校教育ですが、図書館からの派遣で実施していきたいと思っています。図書館と学校教育課との連携のもと、学校支援のあり方も含めて進めていきたいと思っています。

また、2週続けて台風がきまして、避難所を開設しました。10月5日は河南小学校を開け

ましたし、10月13日には河南小学校を避難所として開設し、教育委員会でも管理職を含めたくさんの人に出させていただきました。

各課のこの1か月の状況につきましては、教育総務課では、昨夜、通学のあり方検討委員会を開催しました。11月にもう一回開催をして提言案をまとめていただく予定です。また、大分の研修が中止になりました。11月12日には湖北での研修がありますので御参加をお願いします。

学校教育課では、教育フォーラムの開催についてお願いしたいと思っておりますし、今、私のほうは人事訪問に出しておりますが、これが終わると11月には学校訪問を教育委員さんをお願いします。

生涯学習課では、芸展、ふれあいスポーツ祭などたくさんのお催しがありました。ねんりんピックへ参加された方が10人くらいおられまして、その報告会を持ちました。次年度は早い時期に事前に激励会ということで開催したいと思っています。明日、生涯学習課が担当しております同和教育推進本部の研修会を行います。

学校給食課は、共同調理場連絡協議会の研修会を東部給食センターで行っておりますし、報告を見ていると東部給食センターを活用してPTA研修等も実施されているところです。

図書館では、はにわ館で新幹線50周年記念の企画展をしていますし、今、蔵書点検を行って整理をいただいています。貸出冊数も目標値に近いところまで来ているという報告を受けています。

歴史文化財も本日配っていますチラシの企画展も開催しております。

秋は、催し物もたくさんありますので、皆さんも足を運んでいただけるとありがたいと思います。

委員：かなり詳しく広範にわたって報告いただきました。委員の皆さんから何か御質問はございますか。

委員：この1か月の間に長浜市で児童虐待事件がありました。報道等を見ていると、本人が虐待はないと言ったために踏み込めなかったということですが、そういうものでしょうか。

事務局：その状況、繋がりによって詳しく聞ける場合はあると思います。どこまで子どもと周りの大人が心を通わせているかというのが大事なところだと思います。

委員：情報が1つに集まってくるのは兎相ですか。

事務局：サポートセンターのケース会議に情報が集まりますので、そこと学校教育課と学校が連携しています。

委員：小さい発見から大きくならないようにしていくのが一番だと思います。

事務局：ケース会議を頻繁に行うこと、接触を毎日していくこと、情報をいろんなところから集めていくことだと思います。

委員：ちょうど報道があった日に人権擁護委員の研修がありました。いかに虐待らしき情

報をキャッチするか。学校で気付くこともあり、欠席しがちであるとか、ケガや腫れなどの観察をしてもらうことが必要です。繋がりを持っている機関がいくつもあるので、身近なところでアンテナをあげ、ケース会議を定期的にやっていただきたいと思います。

事務局：子どもには何らかの変化、サインが出てきます。先生が何か変だなと思ったら情報を共有するということが大事だと思います。青いあざを作ってきたら当然だし、何かそわそわしていたり、目が合わないというサインも出てきます。

委員：身体測定の時などに観察して気になることがあれば確認もしないと。

事務局：子ども自身が親をかばうこともあります。先生も話しやすい雰囲気を作っていくことが大事だと思います。

委員：大原小の北側で大東中学校の生徒が事故にあったと聞いています。木が大きくなって見通しが悪くなっています。そういうのはどこで確かめるのですか。

事務局：通学路に関しては学校が点検しないといけない。

委員：大原の「はらっぱ」の角のところ。すごく木が大きくて見通しが悪くそこで自動車が来ても自転車が来てもわからないので、このようなところが他にもないか心配です。

委員：そこの管理はどこがしているのか。

事務局：放課後児童クラブは、こども未来部です。

事務局：通学路の点検は学期に1回はしていただくようお願いしていますので、話をしておきます。

委員：大東中学校は工事をされていて、整備され見晴らしがよくなって、本当に開放感のある運動場になるなどと思って見させていただいています。

委員：運動会で運営に意見されている人がいました。丁寧に対応されていたんですが、大変だろうなと感じました。

事務局：大きな問題にならないよう対応していただきました。

委員：特別支援のことで教えていただきたいのですが、障がいのある子の特別支援学級への就学を決める道筋というのは、どのようになるのですか。

事務局：学校には特別支援教育委員会があって、その上に市の就学指導委員会があります。各学校から市の就学指導委員会にあげられたものについて、学校訪問、観察会を経て、就学についての答申をまとめます。

委員：保育園幼稚園についてはどうなっていますか。

事務局：保育園幼稚園も同様です。

委員：それに対して親さんの納得はどういう形でされるのですか。

事務局：学校から子どもの適切な就学について専門的立場から答申をいただきたい時は、単独であげる場合もありますし、保護者と相談の上であげる場合もあります。保育園幼稚園についても同様です。ひまわり教室に通所されている場合は意見をいただき

就学指導委員会にかけることがあります。

やはりコミュニケーション力、対人関係がうまくとれない子どもなど、みんなと共に集団的活動ができないような場合は、保育士や幼稚園から保護者と丁寧な話し合いを重ね、両者で子どもの育ちを支えていけるよう、共通理解を大事にしています。

委員：生涯学習課の行事はすごく多いですが、生涯学習課が主体的に動いておられて、長期間続いている事業はありますか。

事務局：芸術展覧会が今年9回目、ルッチ大学は山東町時代から続いていますし、人権の関係もずっと続いています。いきいき健康ウォークも山東町時代は鴨の里ふれあいマラソンだったのが形を変えながら続いています。

委員：河南小学校の読み聞かせに行きましたが、2階の図書室がいい雰囲気になっていると感じました。

委員：特別支援の話は、何か聞かれたのですか。どちらにせよ保護者の納得の上で専門の意見も取り入れて判断されるので、相談があれば先生と連絡を取りながらお願いします。学校現場のちょっとしたいきさきを持ってくる人もあります。基本的には相手が何を言っておられるのか、何があったのか等を聞くというスタイルで、毅然とした対応をしていかないとはいけません。聞くことは聞いて言うことは言わなければいけないと思います。

## 5 議案審議

委員長：今日は議案が多いので、説明は簡潔にお願いします。議案第76号は保育幼稚園課です。議案第77号から審議します。

議案第77号 米原市教育のもり条例施行規則の一部を改正する規則について

【教育総務課】

原案承認

議案第76号 米原市立天狗の丘条例施行規則の一部を改正する規則について

【保育幼稚園課】

委員：天狗の丘の管理はどこですか。

事務局：山東幼稚園の附属施設で、教育委員会の管轄だったが、機構改革により今年度から保育幼稚園課が所管しています。

委員：点検はどうなっていますか。

事務局：今年度も点検はしていますが、築山は崩れてきているので大規模な修繕が必要です。

委員：利用者の申請、許可は教育委員会がするのですか。

事務局：施設は、公園、かもんホール、交流室の3つがあり、公園は申請は必要ありません。かもんホールと交流室は使用料の関係もありますので申請が必要です。

原案承認

議案第78号 米原市立学校給食施設条例施行規則の一部を改正する規則について

【学校給食課】

原案承認

議案第79号 米原市柏原宿歴史館条例施行規則の一部を改正する規則について

【歴史文化財保護課】

原案承認

議案第80号 米原市伊吹山文化資料館条例施行規則の一部を改正する規則について

【歴史文化財保護課】

原案承認

議案第81号 米原市醒井宿資料館条例施行規則の一部を改正する規則について

【歴史文化財保護課】

原案承認

議案第82号 米原市近江はにわ館条例施行規則の一部を改正する規則について

【図書館】

委員：地域子育て支援センターで使っているところですか。

事務局：地域子育て支援センターが使用しているところは目的外利用ということで、1年ごとに期間設定し、日曜日以外で使っていただいています。

委員：新しく認定こども園ができますが、この地域子育て支援センターは存続するのですか。

事務局：本来ですと新しい認定こども園にできるといいのですが、近江は利用者が多く、人気があります。また、図書館と併設しているので両方の有効活用という面があります。個人的にはかたりべホールとして残しておきたいという思いはありますが、現状ではうまくかみ合っているので利用してもらっています。

事務局：一長一短あります。団体や高齢のお客さんに座っていただけないこともありますし、高齢のお客さんが遠くから歩かれて子育て中の若い方が玄関前に駐車され、クレームがくることもあります。一方で、子どもを対象にしたいろいろな催しについては、図書館では音楽やお話を聞くという耳から育てて読書力を伸ばしていくということがありますので、そういう点で有効です。

事務局：現場の声もそうだし、こども未来部からも市民にとっては利用しやすいという声もあります。

委員：さしあたって1つにするということではなく、様子を見るということですね。やは

り、子どもたちには図書館がそばにあり、お話し会や音楽会をちょっと覗きに行けるというのは魅力的なことです。

原案承認

委員長：議案第83号と84号は関連がありますので、一括で説明をお願いします。

議案第83号 米原市いじめ問題調査委員会運営規則の制定について

【学校教育課】

議案第84号 米原市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について

【学校教育課】

委員：専門委員を委嘱した時の報償費はどうなっていますか。

事務局：補正でお願いしました予算の中で対応する予定です。

委員：専門委員は、実際の調査の時の調査委員さんが推薦されるという流れですか。1つのケースの場合は1人ですか。

事務局：委員さんプラス専門委員で対応することになります。

原案承認

議案第85号 米原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

【生涯学習課】

原案承認

## 6 報告事項

### (1) 後援等名義使用承認について

○第13回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝

【歴史文化財保課】

○第15回湖北母親大会

【学校教育課】

### (2) 米原市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱および任命について

【学校給食課】

### (3) 全国学力学習状況調査、米原市学力学習状況調査の結果について

【学校教育課】

事務局：米原市学力学習状況調査の結果について説明

事務局：全国学力学習状況調査の結果について説明

委員：小学校5年、6年、中学校2年、3年での実施ですが、5年から6年でどうなったかというデータはあるのですか。

事務局：中学校は全部の学校で伸びています。小学校は全国との差は縮まっていますが、学

校間の格差があります。小学校で非常によく伸びた学校が2校ありますが、その反対もあります。1年間でどういう取組をしたから伸びたとか取組がなされなかったから伸び悩んだとかの検証が必要です。よく伸びた2校には特徴があり、1つは基本的な生活習慣の部分が伸びたこと、ほぼ決まった時間に就寝するようになり、それに伴って家庭学習で予習復習するとか自分で計画をたてて学習することが充実してきました。そうすると学校の決まりを遵守するということにもつながってきます。基本的な生活習慣が全体的に底上げしています。もう1つは人権意識の向上です。自己肯定感につながる回答が増えて、それに伴って友達の意見を最後まで聞ける、いじめは絶対にダメと言い切れる子どもが増えています。学力の伸びた2校は基本的な生活習慣の部分と人権意識の向上の部分で共通しています。

委員長：米原市では全国と同じ会社のものを利用していますし、学年も5、6年となっていますので、そういう分析もできます。

委員：子どもたちに基本的な生活習慣を身に付けさせるよう家庭も学校も一体となってやることが学力向上につながっていくものと思いました。各学校で研究授業など、若い先生がベテランの先生のいいところを吸収し、ベテランの先生が若い人のいいところを見つけてお互いが子どもたちのためにいい方向に向かっていくような教育を進めてほしいと思います。

委員長：「教育滋賀」を送っていただきましたが、裏のグラフを見るとガクッときます。基本的には学力を上げないといけないのですが、一人一人の子どもができたとか、解けるようになったとか、そういう授業を仕組んでいただかないといけないと思います。小数の計算など、繰り返しドリル的にしないとできない部分があります。そういう中で、自己肯定感もありますが、できた、できるようになったという体得を仕組んでもらうことが大事ではないかと思います。私語が多いということがありますが、日常の授業はどうなっていますか。普段の授業がきちっとできているか。小中共通した学習規律をきちっと掲げて、全部の先生が認識して、学習のルールを考える必要があります。学習は個に整理するのですが、個人でやっているのではなく、他の子と一緒に学ぶということです。その辺の要素を授業の中に仕組まないといけない。自分だけ分かっていたらいいというレベルの学習ではなく、共に学ぶということ、グループ学習などを試みながら授業改善をやってもらうことが必要だと思います。算数数学の中で生活との関連があるという話でしたが、そのとおりだと思います。解決のための方策としては、数学では式の意味を自分の言葉で説明させる。これは20年も30年も前から言っていることで、問題を解けるではなく、方程式の意味を言葉で理解させる授業をやる。そういう意味での研究会はどれくらいできているのか。率先して先輩の授業を見に行く機会が大切で、自ら先輩に学んだり、他校に学んだりしてほしい。最後の表を見ていますと各学校の取組はできています。大したものだと思います。具体性を持たせて、うちはこうやっていますと、しっか

りみんなのものにして、それぞれの教科で取り組んでもらいたい。小学校の補充の学習が下校の関係で少ないというのは、やはりそうになってしまうのですか。

事務局：スクールガードが迎えに来る時間が決まっていて、居残りで補充学習ができないという実態があります。水曜日補充学習を全体でとっている学校もありますので、できないわけではないと思いますが。

委員長：そういうことができないのなら、宿題の量を増やせばいいと思いますし、毎時間授業の始めに数式の計算問題を必ずやらせるなど、なんかそういう策略ができるのかなと思います。若い先生に向けてのベテラン先生の校内でのモデル授業なども工夫してもらいたいと思います。ベテランの先生はモデルを示さないといけないと思います。これを契機にまた意見交換をしたいと思います。

## 7 質疑応答

## 8 閉会

次回

第11回定例教育委員会 11月20日(木) 午後3時30分～  
山東庁舎3階 第2委員会室

以上をもって第10回定例教育委員会を午後5時50分に終了した。